

NPO法人  
HUGこどもパートナーズのミニコミ誌

# HUGコミ

第20号  
2014年7月  
hug.com

発行元:NPO法人HUG  
こどもパートナーズ(東村山市秋津町) / TEL&FAX:050-3510-4587 / E-Mail info@npo-hug.com / URL http://npo-hug.com

~ご近所で子育てのお手伝いをしてみませんか?~

## ファミサポの提供会員さんを募集します

東村山市ファミリー・サポート・センターでは、H26年度の提供会員(育児のお手伝いをしたい方)を募集します。提供会員になるためには、養成講習会に参加していただく必要があります。養成講習会は年に1度の開催となりますので、ぜひ、この機会にご参加ください。



### ★どなんが提供会員になっているの?

昨年までに養成講習会を受講された、市内在住の方々です。20代~70代までの会員さんが、ご活躍されています。お仕事を退職された方や、ご自身も育児中の方、パートやご趣味などの合間に活動されている方もいらっしゃいます。小さいお子さんやお孫さんをお持ちの方も、お預かりしたお子さんと兄弟のようにして過ごされたりしています。



### ★頻繁な援助活動は難しいのですが…

活動できる日の、できる時間に、できることを、で構いません。無理のない範囲で、地域の子育て支援のお手伝いをお願いします。

### ■養成講習会への申込みは8月4日(月)から受け付けます■

講習会は、9月中旬より、ファミリー・サポート・センターがある「東村山市地域福祉センター」内にて行います。全9日間の講座となり、参加費は無料です。詳しくは8月1日号の市報にてご確認ください。興味はあるけど今年はまだ活動が難しいかな…という方は、来年以降にぜひ、ご参加いただけます。



『わたしの山小屋日記』  
~動物たちとの森の暮らし~  
春夏秋冬全4巻  
今泉 吉晴 著  
論創社  
各1400円(税別)



『クリオネのしつば』  
長崎 夏海 著  
講談社  
1300円(税別)

真夜中、懐中電灯片手に山道を1キロほど歩いてみつけた渓流で、黒いイワナを捕える力ワネズミ、その姿を小さな彗星にたとえ心ときめかせる著者。モグラ、野ねずみ、リス、ムササビなど森に住む小さな動物たちを、たぐいまれな好奇心と繊細さで見守り、不思議がり、さらに深く探求していきます。「シートン動物記」の訳者でもある著者が、実際に見て知り、感じた山小屋の四季、一編一編がそおつと手のひらに包み込んで繰り返しながらめでたいほど愛おしいです。朝日新聞PR版に掲載されていたコラムが美しい写真入りで本になりました。(ま)



私は物語を読み始めるとき、読み終わるまではそわそわしておちつかなくなるので、最近は小説を読むのを封印していたのですが、がまんできなくて読んじゃいました。それも一気に!

夏海さんの紡ぐ世界は、なつかしい香りの風が吹いていて、すっかりおばさんの私も現代中学生の物語の中に入っています。どんな子にもそれぞれの事情と世界がある。そして、大事なものがある。けっして器用ではないけど、現実を受け入れて、自分の宝物をしっかり守ろうとしている主人公たちの誇り高い姿に、思い切りエールを送りながら読みました。おとなとして辛いシーンもあるけど、それでも立ち続ける姿にほれぼれ。

さてさてこれ以上のネタバレは、読む楽しみが減ってしまうので、ここまで。あとは読んでのお楽しみ。(れ)

『セラピスト』  
最相葉月 著  
新潮社  
1800円(税別)



「言葉によって因果関係をつなぎ、物語を作ることで人は安住する。しかし、振り回され、身動きが取れなくなるのもまた言葉であり、物語である。」セラピストの中井久夫さんの言葉です。文中でもセラピストとクライアントの言葉と沈黙のやり取りにたびたび感動させられます。最相葉月さんは自分の病をさらけ出し、自らがクライアント、セラピストになることで、心理療法への理解を深め本書を書き進めています。ものすごく深く、丁寧に。また、心の喜びは、苦痛の本源に自らが立ち向かうことでしか得られないという事実を、私たちに教えてくれます。(さ)

### 雑記報

■梅雨あけて夏本番も間近、子ども達にとっては楽しい夏休みも母親にとっては、「三食作るのか?」なんていうお悩みも。しかし、子ども達がおかあさんの作つたごはんを「おいしく」と言って食べててくれる時期は、意外に短いのかもしれません。「親子でごはんを楽しく食べるそんなごく当たり前の幸せに感謝したいものです。HUGのメンバーは「食」に興味のある人が多く、食べ物の話には事欠きません。美味しいお店、安全な食品、「麺」「醤油」など体によい食べ物…特に最近は「さつやんちのごはん」がブームです。興味のある方はぜひ3・11「ここからプロジェクト」情報をご注目ください。

「食べる」は生きる。おいしいごはんにはみんなの笑顔が集まりますね。■最近気になるのは、日本といふ国がいつの間にやら「戦争できる国」にする国に!?大きな曲り角を曲がりつあるのに、TVをつけば「食べ物」など体によい食べ物…特に最近は「さつやんちのごはん」がブームです。興味のある方はぜひ3・11「ここからプロジェクト」情報をご注目ください。「食べる」は生きる。おいしいごはんにはみんなの笑顔が集まりますね。■最近気になるのは、日本といふ国がいつの間にやら「戦争できる国」にする国に!?大きな曲り角を曲がりつあるのに、TVをつけば騒がしいだけの番組ばかりで「無関心でいてね」というメッセージにすら聞こえます。そもそも「平和憲法」はどうやってできたの?なぜ今その解釈が強引な形で変えられようとしているの?関心を持たなくちゃいけないのはまさに「今!」なのかも。どこから手をつけていいわからないという方にオススメなのは小熊英二著、よりみちパンセシリーズ「日本といふ国」。明治~戦後と日本がどのように歩んできたか、中学生から読めるようわかりやすく書かれています。ただただ平和を心から祈るばかりです。■今度の「HUGコミ」は制作方法を一新。各事業から担当が集まって作りました。職員、ボランティア活動者、理事…ふだんコミニケーションを取りにくいメンバーで場を共有する試みです。そして計画通り7月に発行できる運びとなりました!実はここ3年は年に一号しか発行できていませんでした(泣)。次号は12月に発行予定です。会員内のコミニケーション充実も引き続き課題です。■HUGでは「赤ちゃんと抱っこ隊」などのボランティアを常に募集しています。興味のある方はぜひ声をかけてください。



## ぶくぶくダイアリー 「子どもイスのおはなし」

今回から始まったこのコーナーは、「のぐちちょう子育てひろばぶくぶく」のスタッフが、日々のひろばでの出来事や「こんないいことあるよ～」という耳より情報などをちょっとお伝えするコーナーです。

さて、1回目の今回はぶくぶくでオープン以来、お昼ご飯の時間やお絵かきの時に大活躍している“子どもイス”的紹介です。

このイス、秋津町のごみ処理施設秋水園内にある“とんぼ工房”の製品です。木製のパズルやドールハウスなど展示＆販売しているものもありますが、“子どもイス”は受注生産のみ。作成にも1～2か月かかるそうで、価格は2000円（アメニティ基金のため消費税は無）です。皆さんが粗大ごみとして出した木製家具などを解体して加工し部材から作っているので、その時により材質や作成期間も変わるのでそうです。その他に工作キット（有料）があり、自分で工作を体験することもできます（市報で確認してね）。

お家の家具がガタついて困ったなという時は、とんぼセンターさんができる範囲で修理してくださるそうです。相談してみてはいかがでしょう。

のぐちちょう子育てひろばぶくぶく 東村山市野口町2-4-36 TEL 393-4181  
(東村山駅西口より徒歩13分、スーパーカネマンさん斜め向かい)



とんぼ工房『ギャラリーとんぼ』  
【開館】金・土・日・月  
(祝・祭日除く)  
a.m9:00～p.m3:30  
【問い合わせ】とんぼセンター2  
(080-5649-3844)

## 提供会員さんに聞いてみました

実際にお子さんをお預かりしている提供会員さんのお話です。  
養成講習会を受講してみようか迷われている方、ご参考にしてください。

地域に知り合いがたくさんいて、外に出れば「おーい！さっちゃん！」、「あ、○○ちゃん」と声を掛け合い、手を振り合うことができる……、これは地域で暮らす私の理想のひとつです。ファミリーサポートの提供会員になつたのは、その機会をひとつずつでも増やすためでした。

その効果はばっちり。ママバックを担ぎ、赤ちゃんを抱っこして歩いているだけで、最近では声を掛け合わなくなつた人に声をかけられ、その度にアミサポの宣伝をして「赤ちゃんいいな」と羨ましがれます。

我が家でも○○ちゃんのお迎えの日は、家の中がとても平和です。その心地よさに虜になっている我が家の方々（夫、長女20歳、次女18歳、三女15歳）は、可能な限り予定を合わせ、行ける人みんなでお迎えに行きます。こんなことならもつとけんやく登録しておけばよかったな。（「さっちゃん」さん）

子ども二人が中学生になり子育てが一段落した機会に、何かできることがあればと思い、ファミリーサポートの講習会に参加しました。活動を始めて二ヶ月程たちますが、その折々に、自分の子ども達が、お預かりしたお子さんくらいに小さかった頃を思い起こします。娘も思い出すようで、「あの頃、私たちはこうだったよ」とその頃の気持ちを話してくれるようになりました。

私自身の子育てを振り返ると、「叱って、せかして、求めてばかり」の十数年だったと思います。そのことで、実は窮屈な思いをしていたんだと、娘に聞かされた時は落ちこみました。ですが、この活動を始めなければ、そういうことを娘が感じていたことに気付くこともなかったのではと考えると、きっかけができたことに感謝しています。

これからも、お預かりするお子さんの成長も見守りつつ、私の子どもたちが巣立つその時まで、一緒に時間を大切に、共に成長していけたらと思います。（Sさん）

## お申込み・お問合せは

お電話か、直接センターにお越しください  
※お申込みは8月4日から受け付けます

**東村山市**  
**ファミリー・サポート・センター**  
〒189-0022  
東村山市野口町1-25-15  
東村山市地域福祉センター2F  
東村山市子育て総合支援センター  
こころの森 内

**Tel 393-5137**



## 〔平成26年度 提供会員養成講習会日程〕

日にち	時間	講習項目
9/17 (水)	9:00～10:00 10:00～12:00	オリエンテーション 子どものくらしとケア
9/19 (金)	9:00～12:00	保育の心 子どもの事故と安全
9/22 (月)	10:00～12:00 13:00～16:00	子どもの心の発達とその問題① 応急処置と救急対応(普通救命講習)
9/25 (木)	10:00～12:00	子どもの栄養と食生活
9/30 (火)	10:00～12:00	小児看護の基礎知識
10/3 (金)	10:00～12:00	子どもの遊び
10/7 (火)	10:00～12:00	子どもの心の発達とその問題②
10/9 (木)	10:00～12:00	身体の発達と病気
10/10 (金)	9:00～12:00	援助活動を円滑に進めるために 事業説明会及び入会・会員登録

※日程・内容につきましては変更が生じることもありますので、ご承知おきください